

2020年5月3日(日)朝10:10～ 復活節第4、自由交歓会等
5月第1聖餐総員共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：主の裁きの基準①(31)

聖書：マタイ 12章28～32節

<口語訳>

新約聖書18～19頁

マタイ 12章28～32節

<新共同訳>

新約聖書22～ 頁

マタイ 12章28～32節

<新改訳第3版>

新約聖書23～ 頁

マタイ 12章28～32節

<塚本訳>

新約聖書102～103頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇本日の**マタイ12:28～32**は、パリサイ派の人々が、**御子イエス・キリスト様**が、**盲人**を癒されたのを見、「**悪霊のかしらベルゼブル**」と、非難したので、「【新改訳2017】イザ42:1見よ。わたしが支えるわたしのしもべ、わたしの心が喜ぶ、わたしの選んだ者。わたしは彼の上にわたしの霊を授け、彼は国々にさばきを行う。」のみことばが、成就、「**神の国**」は、もうあなたがたのところに來ていると、主は宣言。
⇒「もう…來ている」は、「先行する」という意味のことばで、**神**があらかじめ預言されていたことを実行されたということです。
⇒「パリサイ人たちは出て行って、なんとかしてイエスを殺そうと相談した」(**マタイ12:14**)が、主の死の時が迫ってきていることを主が察知なされたのです。

◇本日、**マタイ書12章28～32節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ12章28～32節**；**使徒マタイ**は、盲人の「**悪霊**」を追い出す**神の御子イエス・キリスト様**が、「**神の聖霊(25)**」を冒瀆する罪を示されたと語っています。

◇**12:23～32節**；**塚本訳◆ベルゼブル問答**

「28 しかし、もし(そうでなく、)わたしが神の霊で悪鬼を追い出しているのであれば、それこそ神の国はもうあなた達のところに来ているのである。

29 また、まず強い者を縛りあげずに、どうして強い者の家に入って家財道具を掠め取ることが出来ようか。縛ったあとで、その家を掠めるのである。

30 (だからわたしは言う、ベルゼブルはすでに縛られている。神と悪魔との戦いは始まっている。)わたしの側に立たない者は、わたしに反対する者、わたしと一しょに集めない者は、散らす者である。

31 (あなた達はわたしをもって働く神の霊の働きをベルゼブルの働きと罵った。)だからわた

しは言う、人の(犯す)いかなる罪も冒瀆も赦していただけるが、御霊の冒瀆は赦されない。

30 (だからわたしは言う、ベルゼブルはすでに縛られている。神と悪魔との戦いは始まっている。)わたしの側に立たない者は、わたしに反対する者、わたしと一しょに集めない者は、散らす者である。

31 (あなた達はわたしをもって働く神の霊の働きをベルゼブルの働きと罵った。)だからわたしは言う、人の(犯す)いかなる罪も冒瀆も赦していただけるが、御霊の冒瀆は赦されない。

32 人の子(わたし)を冒瀆する者ですら赦していただけるが、聖霊を冒瀆する者は、この世でも来るべき世でも(決して)赦されない。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**マタイ12:28~32節**；「しかし、もし(そうでなく、)わたしが神の霊で悪鬼を追い出しているのであれば、それこそ神の国はもうあなた達のところに来ているのである(28)」、「また、まず強い者を縛りあげずに、どうして強い者の家に入って家財道具を掠め取る^{かす}ことが出来ようか。縛ったあとで、その家を掠めるので

ある(29)」、「(だからわたしは言う、ベルゼブルはすでに縛られている。神と悪魔との戦いは始まっている。)わたしの側に立たない者は、わたしに反対する者、わたしと一しょに集めない者は、散らす者である(30)」、「(あなた達はわたしをもって働く神の霊の働きをベルゼブルの働きと罵った。)だからわたしは言う、人の(犯す)いかなる罪も冒瀆も赦していただけるが、御霊の冒瀆は赦されない(31)」、「人の子(わたし)を冒瀆する者ですら赦していただけるが、聖霊を冒瀆する者は、この世でも来るべき世でも(決して)赦されない(32)」、「**御子イエス・キリスト様**」は、「わたしが神の霊で悪鬼を追い出しているのであったら、それこそ神の国はもうあなた達のところに来ているのである(28)」と、宣言されました。

⇒**御子イエス・キリスト様**は、パリサイ派の人々が、**盲人**を癒されるわざを**悪霊のかしらベルゼブル**と決めつけた時、「**神の国**」が、来たのだと言われました。**悪魔**と**悪霊**は、誘惑者であり、**マタイ4章**では、空腹の**御子イエス・キリスト様**を40日40夜試みたのです。

⇒その決着の時が来たと言われます。「わたしが神の霊で悪鬼を追い出しているのであれば、それこそ神の国はもうあなた達のところに来ているのである(28)」の「もう来ている」は、先行しているという意味のことばです。

⇒主の十字架の死は、**神**が用意されたことで、主を**ベルゼブル**と呼ばわった時、**神の時**に達した(もう来た)と宣言されたのです。

◇**マタイ12:28~32節**；「わたしが神の霊で悪鬼を追い出しているのであれば、それこそ神の国はもうあなた達のところに来ているのである(28)」、「だからわたしは言う、人の(犯す)いかなる罪も冒瀆も赦していただけるが、御霊の冒瀆は赦されない(31)」は、「強い者(悪魔)を縛りあげる」時が、来たので、「**聖霊**」を冒瀆する罪は、赦されることはないと言われたのです。

⇒「**聖霊**」は、「**神の心**」そのものだからです。これは、すべての人の問題です。人の罪は、心の奥深くにあるからです。

⇒幸いなことは、罪の赦しを与えられていることです。

- ⇒悔い改めの恵みは、絶えず主に結びつけるのです。
- ⇒「**聖霊**を汚すことば」を、主は問うておられます。結果として、パリサイ派の人々が、預言の実現の契機をなりましたが、彼らは預言成就を意識してはいませんでした。
- ⇒「**聖霊**を汚すことば」は、人間の本質のかかわることで、心の奥底で、人の目には隠されたところでうごめいている罪です。
- ⇒「**悪魔・悪霊**」が、アダムとエバ、**御子イエス・キリスト様**さえ、誘惑したので、罪の問題は、「**悪魔・悪霊**」が、知り尽くしているのです。
- ⇒創世記3:15、「【口語訳】 わたしは恨みをおく、おまえと女とのあいだに、おまえのすえと女のすえとの間に。彼はおまえのかしらを砕き、おまえは彼のかかとを砕くであろう。」の預言の成就でもあります。
- ⇒内在の罪に勝利できるのは、罪のないお方が、罪のために十字架の死を引き受けるほかに道がなかったのです。主は、罪と罪を支配する「**悪魔・悪霊**」を滅ぼし、勝利の死よりの復活をされたことに希望があるのです。

⇒「【新改訳2017】ロマ 6:10 なぜなら、キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、キリストが生きておられるのは、神に対して生きておられるのだからです。」

結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日の**マタイ12:28～32**は、パリサイ派の人々が、**御子イエス・キリスト様**が、**盲人**を癒されたのを見、「**悪霊のかしらベルゼブル**」と、非難したので、「【新改訳2017】イザ42:1 見よ。わたしが支えるわたしのしもべ、わたしの心が喜ぶ、わたしの選んだ者。わたしは彼の上にわたしの霊を授け、彼は国々にさばきを行う。」のみことばが、成就、「**神の国**」は、もうあなたがたのところに來ていると、主は宣言　。
- ⇒「もう…來ている」は、「先行する」という意味のことばで、**神**があらかじめ預言されていたことを実行されたということです。
- ⇒「パリサイ人たちは出て行って、なんとかしてイエスを殺そうと相談した」(**マタイ12:14**)が、主の死の時が迫りを主が察知なされたのです。

⇒私たちの心は、心の奥底の罪を問う**悪魔・悪霊**が、知恵を尽くして誘惑しています。

⇒つぶやいたり、批判したり、思い煩ったりしています。そして、悔い改めるより、弁解、弁明に走ります。

⇒「【新改訳2017】ロマ 6:6 私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだは滅ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。」